

令和7年度第2回寒川町介護保険運営協議会書面会議ご意見		
1. 意見なし 6名		2. 意見がある 4名
	委員意見等	町回答
1	計画策定大変ですが頑張ってください。	ご意見ありがとうございます。 調査結果の分析や施策の検討にあたっては、引き続き、委員の皆様にご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
2	新たな赤字の部分のゴシック体は読めるが小さい設問の部分もゴシック体の方が読み易い、黒なら読めます。内容は良いと思います。	ご指摘ありがとうございます。 設問のフォントにつきましても、読みやすさを優先してゴシック体(黒色)への変更を検討いたします。 高齢者福祉計画の基礎資料として、より多くの方に正確にご回答いただけるよう、視覚的な配慮を徹底してまいります。
3	質問用紙が長文で回答率が低いと想定されます。	ご指摘ありがとうございます。 設問のボリューム感については事務局でも課題と認識しております。しかし、高齢者の多様なニーズを正確に把握するためには、現在の内容が必要最小限であると考えており、ご理解いただきたいと存じます。引き続き、回答状況を注視しながら、円滑な調査実施に努めてまいります。
4	①問3の(7)では、定期的に通院しているからは聞いているのですが、実は免許を返納したり、バスが無い、タクシーが来ないなどの通院できない状況が現実にはあります。 車で送迎してくれる家族がいないなどもありますが、定期的な十分な口腔ケアはやはり在宅では難しいことがあり、怠ると高齢者の口腔内は急激に悪化して、う蝕や歯周病が進行します。口腔内の不潔や歯周病が糖尿病、痴呆やさまざまな疾患の原因になっていることを考慮するとこの問後に通院に困っていますか、困っている理由などの設問を加える。	ご意見ありがとうございます。 高齢者の皆様が継続的に医療機関や歯科診療所へ通院するためには、身体状況だけでなく、移動手段の確保や家族によるサポートの有無が壁となっている現状を重く受け止めており、ご意見を反映させた設問を加えさせていただきました。

5	問10の(5)の中に町は期待することとして通院のために補助サービスなどを加えて頂きたいと思えます。	ご意見ありがとうございます。 ご意見を反映させた設問を加えさせていただきました。
6	セカンドライフについて ひとりで生涯を楽しんでいるか。 寝たきりで動けないなどの程度いるのか知りたい。	ご意見ありがとうございます。 今回のニーズ調査では、高齢者の皆様が生きがいを持って自立した生活を送れているか、あるいはどの程度の支援を必要としているか、その実態を正確に把握することが重要であると考えております。ご指摘いただいた視点は、QOL(生活の質)や社会的孤立の防止を考える上で欠かせない要素です。いただいた視点を踏まえ、今後実施する講座等において、アンケートの機会を図ってまいります。 なお、「寝たきりで動けないなどの程度知りたい」という事については、介護保険制度の持続可能性を検討する上で重要な指標となります。 引き続き、介護保険運営協議会内で認定者数の報告を行うことで対応してまいります。
7	表紙、個人情報の同意の記載について、国の例示を参考に記載する必要があるのではないのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 最終ページに国の例示どおり記載しております。
8	「赤字」の質問項目については、どの項目も斬新な質問項目が多く事務局サイドのご苦労が伺えます。アンケートを何の目的で実施するかよく検討されています。	ご意見ありがとうございます。 調査結果の分析や施策の検討にあたっては、引き続き、委員の皆様にご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
9	介護認定を受けている人の、サービスの利用状況の分析は、利用実績から行いやすいかと思いますが、寒川町に住む人としての「ニーズ」はどのように把握されているのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 ニーズの把握については、在宅で受けたい支援と、施設で受けるべき支援、それぞれにどんな具体的な要望があるのかを、どのくらいの利用者が、どんな支援を必要としているのかを町民の方々の声と現場のデータを結びつけて行い、アンケート結果についても、単なる数字の集計に留まらず、自由記述欄の内容等を通じて分析を進めてまいります。